

共生社会を考える

外国にルーツを持つ 児童・生徒の教育について

入国管理法（入管法）の改訂以降、外国から日本へ入国される人の増加に伴い、その子どもたちの教育環境をいかに保障するかが重要な課題の一つとなっています。

外国にルーツを持つ子どもが、入学から卒業後の進路に至るまでの過程において、どのような課題を抱えているのかを整理し、それらの課題の解決策について皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

2026年2月26日（木）14:30～16:30

会場：高槻地域生活支援センターオアシス

〒569-0023 高槻市松川町25-5 / 電話 072-662-8130

参加費：無料 定員：20名 ※裏面に申込書があります。

講師：聶蕙菁（じょうけいせい）氏

中国生まれ・育ち。留学生として渡日。
大阪大学（人間科学研究科）博士。
関西国際大学助教。京都教育大学、
大阪成蹊大学非常勤講師。
専門は教育社会学、異文化教育学、
多文化共生教育。
現在エスニシティ内の家庭教育の多様性・
格差について研究。
また、外国にルーツを持つ児童生徒の
教育環境の整備事業に携わっている。



申込用紙



二次元コードを読み取っていただくと、参加申し込みのURLにつながります。

※参加者多数の場合、人数を調整させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。

申込書 FAX：072-662-8131 ※事前申込締切：2026年2月20日(金)	
名前(代表者)	
名前 ※複数名での申し込みはこちらの欄に記入ください	
所属	
連絡先	電話： メール：
HP・SNS・研修等での写真掲載について ※どちらかを○で囲ってください	承諾します ・ 承諾しません